

第1回「高野七口会」ウォーク ～龍神道～ 実施報告

実施日：平成25年10月5（土）、6（日）

天気：10/5 曇り、10/6 晴れ

参加者：西中、濱田、豊田、城戸、入谷、児玉（敬称略）

前日までの天気予報では台風23号に伴う雨とのことで、当初の予定であった護摩壇山から歩くことはあきらめ、10/5は日光神社と箕峠から花園までのウォークに変更した。

また、このことに伴い、バスは利用せず、3台の車（濱田、城戸、児玉）を活用することにした。

10:00 金剛峯寺第二駐車場に集合、城戸車を残し二台の車に分乗して笹ノ茶屋に向かった。

10:45 笹ノ茶屋に車を残し、日光神社へウォーク開始。スカイラインから分岐する林道を少し下ると右手に遊歩道の入口があり、日光神社まで900mの案内がある。



道は丸太を利用して階段状によく整備されているが、かなりきつい下り一辺倒で、落ち葉で見えにくいところもあり、滑らないよう踏み外さないように慎重に歩いた。途中、ガマガエルに遭遇、それほど大きくは無いが、泰然とした主らしいしぐさに一同盛り上がる。神社は、基礎は三殿分あるが、建物は一間社の社殿が一基、保護用にトタン屋根に覆われている。その横にも朽ちかけた社殿が残っているが、おそらくは造り直す前の社殿であろう。



濱田さんによると、この神社は平維盛と関係が深いとのこと。社殿前の石柱に維盛ゆかりの「小松弥助」の名を見つけて氏は少し興奮されているようであった。

社殿は今下りてきた道を背にしているので、北西向きに置かれている。したがって、社殿を拝すると南東向きになり、その延長には護摩壇山、さらには本宮大社があるので、これらを遥拝することにもなる。



社殿前の平地には、「ワラビ草」が群生していた。西中さんによると、一株数百円で売られているような価値のある植物とのこと。



神社の左奥は右手に斜面を見て平地が幅約 10m 奥行 50m ぐらいあり、中に大きな木の切り株でかなり崩れてはいるものの建物の基壇と思われる石組みが 2 か所あり、そのうちの一つには「多宝塔跡」との古びた看板が置かれている。看板はもう一つ斜面にも置かれていて、こちらには「経塚跡」と書かれていた。

笹の茶屋までの帰りは、案内通り周遊路に行くことにした。道が 1 か所崩落した所もあったが、迂回の道も階段状に造られているなど、林道までの全体の道が非常によく整備されていて、溪谷を下に見ながら木々の中を 30 分気持ちよく歩くことができた。



林道に出ると、笹の茶屋までは 15 分ほど舗装路を歩くことになる。道沿いには栗の木が多く、毬栗があちこちに転がっている。もちろんほとんどが空であるものの、中には落ちたてであろうか中に実のあるものもあり、探せば結構見つかる。一同童心に帰って栗ひろいに興じた。

笹の茶屋のベンチで昼食を摂った後、車で箕峠まで移動する。箕峠で車を置き、花園まで

古道を探しながら下る。この道は、今は通る人はほとんどいない。腰まである草をかき分けながら歩くところや、完全に道のなくなった斜面を方向だけを頼りに倒木、砂防ダムを踏み越えなければならないところ、崩落した道の上の斜面を木の枝などを手でつかみながら慎重に渡らなければならないところもあるが、古道の状態が良好に残っているところも多い。ただ、地蔵や石造物などは全く無いのが残念である。

1 時間ほどで、川沿いの林道に出た。30 分ほど歩いて国道 480 号線の旧花園小学校付近に着いた。

30 分ほど待って、今夜の宿である、ふるさとセンター「ねむの木」の送迎バスに乗る。宿に向かう前に花園村のポスターでよく見かける「金剛の滝」を案内してもらった。



翌朝送迎バスで元の場所まで送ってもらう。現在の「龍神道」だと宿の裏から登ることになるが、入谷さんの先導で今回は龍神から高野への最短ルートとなる新子（前日乗車地点）から登ことにした。

バスを降りた後、北の斜面沿いに小道を少し上ると一軒の古民家に着いた。人の気配はないが、縁側からガラス越しに内部を見ると部屋の中央付近からこちらに向かって 2 階に上がる大きめの階段が付いていて、明らかに宿屋を思わせる造りとなっている。裏手には、お稲荷さんが祀られていた。

古民家を離れさらに登ると、小さな砂防ダムに突きあたる。道は右手に延びてはいるものの、古道があるはずの上に向かってはいない。皆それぞれになんとか斜面をよじ登ると、10 m ほどの高さのところで古道らしき道に出ることが出来た。

その道を辿るとしばらくして車道に出る。車道の向かいには、さらに上に続く道が見えるので、車道が出来たことによって古道が分断されたのがよく分かる。

登り続けるとやがて道は次第にその痕跡が斜面に溶け込み道かどうか怪しくなってくる。それでもなんとか一番道らしい方向を辿ると、平らな所が完全に崩落した所に出た。それ以上進めそうもないので引き返して斜面を反対側に迂回しながら登ろうとしたが、こちらでも数十 m 行くとブッシュで進めなくなった。

結局、先ほどの崩落した所が古道であろうということになり、引き返して車道を登ることにした。



車道は斜度が平均化されているので登りやすいとはいえ、結構登りが続くので、また昨日とは打って変わって晴天となったので日差しも強く、加えて昨夜の一杯の影響もあるのか尾根筋に出るまではなかなかの苦行であった。



辻の茶屋の公園で昼食を取った後、数百mではあるが昔の辻の茶屋跡前後の古道を確認した。以降は車を置いてある第2駐車場まで車道を歩いて予定のウォークを終了した。